

日本学生支援機構奨学金 手続きマニュアル⑤

「継続手続きマニュアル」

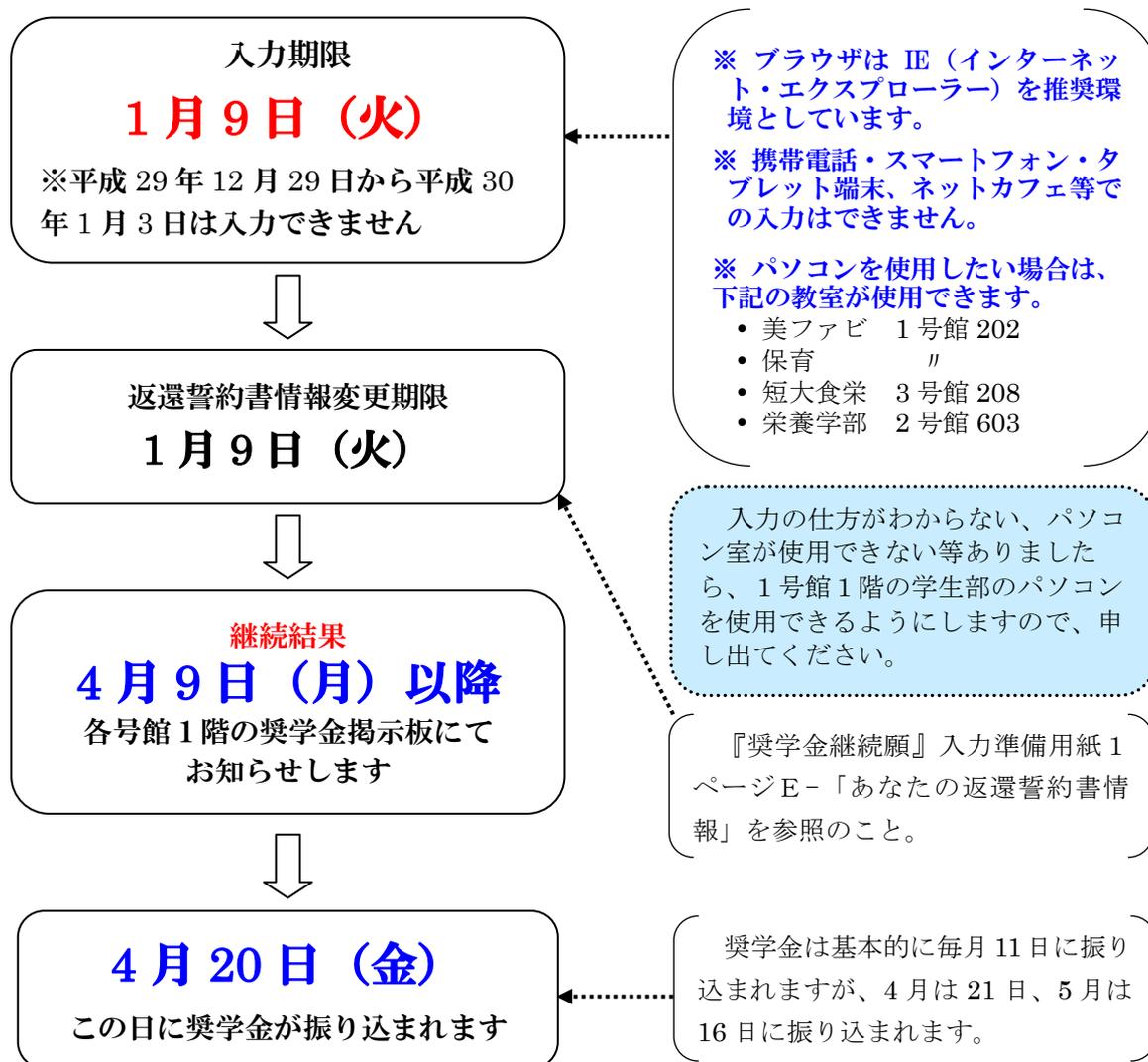
このマニュアルは、保護者にも必ず読んでもらってください。

【継続説明会用】

(12月)

1. 継続までの流れ

『奨学金継続願』入力準備用紙を記入後、インターネット(スカラネットパーソナルログイン)で各自入力(自宅又は学校)



<注意事項>

- ① 期日までに入力しない場合は、2018年3月で奨学金の貸与は終了します。
なお、留年した場合は4月からの貸与を停止します。
- ② 第一種と第二種を借りている場合、それぞれの奨学生番号ごとに入力が必要です。
(封筒が2つありますので、2回入力してください)

2. 『奨学金継続願』 入力準備用紙の注意事項

① P1 「H-経済状況 2、3」 について

★ 保護者に聞いて、入力してください。

主として家計を支えている人とその他に家計を支えている人の昨年 1 年間の所得金額をそれぞれ入力 (1 万円未満切り捨て) 例) 4,569,000 円→456 万円

- ・ 給与所得(平成 28 年分又は 29 年分)(年金・恩給・生活扶助費・失業給付金等の収入含む)直近の源泉徴収票、各種証明書の支払金額を入力してください。
- ・ 給与所得以外
直近の所得税の確定申告書(控)の収入・売上金額と所得金額を入力してください。
(平成 28 年分で構いません)

3. 『奨学金継続願』 入力準備用紙 P2、P3 記入例

① 自宅通学で「機関保証」の場合

あなたの収入の種類	百 万	十 万	万	
1) 家庭からの給付	1	6	0	万円
2) 日本学生支援機構の奨学金 (自動表示)		6	0	万円
3) 日本学生支援機構以外の奨学金			0	万円
4) アルバイト等収入			0	万円
5) その他			0	万円
収入合計 (自動表示) ★	2	2	0	万円

家庭からの給付に奨学金を含めないこと

あなたの支出の種類	百 万	十 万	万	
1) 学費	1	1	7	万円
2) 修学費		2	0	万円
3) 食費 (外食費)		3	0	万円
4) 通信費		1	5	万円
5) その他		3	4	万円
6) 機関保証制度の保証料 (自動表示)			4	万円
支出合計 (自動表示) ☆	2	2	0	万円

このマニュアル 6. の学費・修学費等参考資料 (目安) 参照のこと

※人的保証の場合、6) 機関保証制度の保証料は表示されません。

※上記の記入例の場合、収入合計が支出合計を超えていないので辞退、減額する必要はありません。

②自宅外通学で「人的保証」の場合

あなたの収入の種類	百万	十万	万	
1) 家庭からの給付	1	8	0	万円
2) 日本学生支援機構の奨学金 (自動表示)		6	0	万円
3) 日本学生支援機構以外の奨学金			0	万円
4) アルバイト等収入		4	0	万円
5) その他			0	万円
収入合計 (自動表示) ★	2	8	0	万円

家庭からの給付に奨学金を含めないこと

あなたの支出の種類	百万	十万	万	
1) 学費	1	1	7	万円
2) 修学費		2	0	万円
3) 家賃		6	0	万円
4) 食費		1	2	万円
5) 光熱水料通信費		2	4	万円
6) その他		4	3	万円
支出合計 (自動表示) ☆	2	7	6	万円

このマニュアル 6. の学費・修学費等参考資料 (目安) 参照のこと

※機関保証の場合、7) 機関保証制度の保証料が自動表示されます。

※上記の記入例の場合、収入合計が支出合計を年間 4 万円しか超えていないので辞退、減額する必要はありません。

4. 収入合計と支出合計について

収入合計 (★) ≥ 支出合計 (☆) となります。

★収入合計が支出合計を上回り、差額が年間 **36 万円**を超えた場合、その分の奨学金を減額もしくは辞退しなければなりません。(後日減額又は辞退の用紙を配布します)

例) 差額 36 万円の場合

36 万円 ÷ 12 ヶ月 = 3 万円になり、1 ヶ月 3 万円余っていることとなります。

1 ヶ月 3 万円奨学金を借りている場合は、**奨学金を辞退してください。**

1 ヶ月 8 万円奨学金を借りている場合は、**5 万円に減額してください。**

5. 継続願提出 (インターネット入力) 完了の確認について

- 受付番号が表示されたら終了です。以下の画面が確認できずに終了した場合、継続願提出は完了していません。

再度、入力が必要です。

